

平成 26 年度 日臨技、都道府県技師会主催  
「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」

事後アンケート集計

都道府県 青森県臨床検査技師会  
 担当氏名 佐藤 裕久  
 開催日 平成 27 年 1 月 24・25 日  
 アンケート提出数 名 回収率 %

1	講習を受けてどうでしたか？	よかった 100% 39名	よくなかった 0	どちらでもない 0		
2	受講料はどうでしたか？	妥当 67% 26名	高い 33% 13名	安い 0		
3	ビデオ講義形式はどうでしたか？	よかった 62% 24名	よくなかった 10% 4名	わからない 28% 11名		
4	ロールプレイ体験はどうでしたか？	よかった 100% 39名	よくなかった 0	わからない 0		
5	講義内容別の評価を 5 段階でお願いします ( )内人数表記 5 とてもよかった 4 よかった 3 普通だった 2 ものたりなかった 1 よくなかった 0 未記入					
	取り組む意義 (ビデオ) 宮島会長	5 (10)	4 (17)	3 (8)	2 (4)	1 (0)
	期待するもの (ビデオ)	5 (10)	4 (16)	3 (10)	2 (3)	1 (0)
	患者心理 (初級レベル)	5 (29)	4 (8)	3 (1)	2 (0)	1 (0) 無(1)
	接遇の基本	5 (28)	4 (7)	3 (3)	2 (0)	1 (1)
	RCPC	5 (25)	4 (12)	3 (2)	2 (0)	1 (0)
	検査説明の実際	5 (35)	4 (3)	3 (1)	2 (0)	1 (0)
	看護師の患者接遇 (ビデオ)	5 (7)	4 (14)	3 (16)	2 (2)	1 (0)
	実践から学ぶ (ビデオ)	5 (8)	4 (20)	3 (7)	2 (3)	1 (0) 無(1)
	検査説明模擬演習	5 (30)	4 (7)	3 (0)	2 (0)	1 (0) 無(2)
6	講習会の感想、意見、要望	大変勉強になった ロールプレイ、ワークショップの方が講義・ビデオより身につく ビデオは専用に撮影されたものが良い、音・画像の改善必要 ビデオで自分の説明の様子をみることは有効だ。 他のスタッフ(糖尿病指導士)の参加もあればよかった。 希望患者には説明を実施。患者の立場を理解し話を聞くことの大切さを知った。 知識を身につける必要性を感じた。 ロールプレイは良い。何度も行い客観的にみる必要がある				

	<p>と感じた</p> <p>接遇の基本、検査説明の実際のロールプレイは体験することで、難しさ・問題点が分かり良かった。</p> <p>他の施設の人と交流がもて良かった。</p> <p>検査説明の実際のロールプレイが出来たためになった。今後取り入れて職場で練習したい。</p> <p>全員参加型の講習会で勉強になった</p> <p>2日間は厳しいと思ったがもっと学ぶことがあるのではと感じた。</p> <p>他技師会でのロールプレイのビデオで見たかった。</p> <p>検査と疾患の関係など勉強していかないと感じた。</p> <p>有意義な講習会。難しいところ、問題点もあるが技師による検査説明は実現したい。</p> <p>ロールプレイ、コミュニケーションは大変参考になった。</p> <p>コミュニケーションが全てにおいて必須であり、宮島会長の目指す方向が理解できた。問題が多くあるが時代の流れでの変革を痛感した。</p> <p>講師による理想的な実演もほしかった。受講者を増やし受講料を下げてもどうか？</p> <p>接遇、コミュニケーションの大切さを感じた。検査説明の難しさを感じたが今後必要となると感じた。</p> <p>検査の実際で、説明の大切さや難しさがよくわかった。不安だが取り組みたい</p> <p>多くのスタッフに受講してもらいたいが高額な受講料が高い。</p> <p>冬期間の2日間の日程は厳しい。</p> <p>他施設と交流して情報交換できればと思う</p> <p>検査説明の実技が良かった。どのような手順で検査説明すればよいか分かった。これを基にトレーニングしていきたい。</p> <p>ビデオはイマイチ緩くなる。講演の先生方が素晴らしい。</p> <p>講習会は有意義であった。目標・課題が得られた。</p> <p>健診患者への説明はやりやすいが、病気治療で通院している患者への対応では問題が生じるのではと感じた。</p> <p>体験してみて説明のポイントが参考になった。</p> <p>患者の心理をよく観察することが大事だと知り良かった。</p> <p>主導型や安定型などタイプ別に接遇を変えることでスムーズに説明が行えるという話が興味深かった</p> <p>結果の判読に関しては勉強していきたい</p>
--	--

7	今後検査説明ができそうですか？ 未回答名	できそう 15名	できない 2名	まだわからない 22名
8	検査説明しうる分野（いくつでも可） 回答数	糖尿病外来 21	SMBG 13	健診全般 21
		生理全般 14	検査の多い診療科の患者へ 4	検査の少ない診療科の患者へ 10
9	検査説明のための課題は？	<p>糖尿病教室、地域検診時には実施しているが、診療時間内での検査説明には体制や人員の問題がある。</p> <p>医師の理解、人員の確保、保険点数が付かないと病院トップに主張できない。</p> <p>技師個人の知識を深める（スキルアップ）</p> <p>検査説明のスキル（知識・コミュニケーション力）の個々のレベル、技量の平均化やレベルアップの確認の仕方、</p> <p>病院長・医師への説明、部屋・人員確保</p> <p>人員確保、トレーニング、上司等の説得</p> <p>医師との説明内容の取り決め</p> <p>診療点数について病院上層部への説得、</p> <p>検査データをより深く読みとること</p> <p>検査に関する知識不足を実感した。接遇だけでなく薬などについても勉強しなければと感じた。</p> <p>臨床と説明する項目と範囲のすり合せ、マニュアル作成、説明にあたる技師はある程度経験・訓練が必要</p> <p>実現するための環境づくり、体制づくり</p> <p>薬剤などを含む治療の知識アップ</p> <p>担当者を何名準備できるか、全員が統一した回答を出せるようにしたい。患者一人にどれだけ時間をさけるか。</p> <p>病院、医師の理解、検査技師のスキルアップ。</p> <p>検査目的や手技についての説明はスムーズに導入できそう。結果の解釈は慎重に取り組む必要がある。</p> <p>患者は病気についての評価を希んでいる場合、採決データ、ELG等だけの結果説明では、誤解や不安を招いたりする原因にならないか気になる。</p> <p>質問に対しての答え方、診断に直結する言い方をされた時の対処方法</p> <p>増員無しで検査説明に配置できるか？検査科内でいかに意志統一できるか。</p> <p>病態とからめての学習が必要と感じた</p>		

		<p>人員確保、SMBG とかから始めようか！病院、先生との連携など</p> <p>病院・医師の理解、検査説明のための知識の統一化、スキルアップ。</p> <p>説明技術の向上、院内・部内の意思統一。問題発生時の解決法</p> <p>病院の体制・ルール作り、技師間のスキルの均一化、保険点数</p> <p>説明するには十分な準備が必要と感じた。病態だけでなく、食事や生活習慣、服薬など検査値に影響する要因などの知識を得ることの大切さを感じた。説明には言葉の選び方など訓練が必要と感じた。</p> <p>職場の受け入れ体制が整っていない。</p>
--	--	--